

産業能率大学 経営学部

人間関係の心理学	履修年次	1	
	単位	2	
榎本 博明、福島 里美	配当期	前・後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>人生の喜怒哀楽の大半は人間関係の中で生まれるといっても過言ではない。私たちが幸／不幸を感じる場面では人間関係が関わっていることが多く、まさに私たち人間は“人の間を生きる”存在であると言ってよいだろう。</p> <p>最近では、人間関係に悩む若者が多い。人間関係が苦手でひきこもり気味になる者。友だちができないという者。傷つけないか、引かれなかと気遣うために、友だちにもホンネは言いにくいという者。嫌われたくないという思いが強く、親友にさえ思ったことを率直に言いにくいという者。就活ではコミュニケーション力が強く求められるのに、人間関係が苦手、コミュニケーションに自信がないという若者が非常に多い。</p> <p>そこで、本講義では、以下のような内容を盛り込んで授業を行うこととする。</p> <p>具体的には、人と人が出会ったときにどのように印象がつくられるのか、どのような要因が働いて好意をもつようになるのか、心理的距離はどのようにして縮まるのか、印象管理はどのように行われるのか、非言語的コミュニケーションとは何か、どのようなコミュニケーションが人間関係を良くするのか、説得力あるコミュニケーションのコツは何か、友人関係や家族関係にはどんな心理法則が働いているのか、集団のコミュニケーションにはどんな法則がみられるか、などについて学ぶこととする。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> 人間関係を支配している心理法則についての基本的な知識を獲得できるようになる。 人間関係のさまざまな局面について理解することで、私たちが「人の間を生きる」存在であることを実感して人とかがわかるようになる。 人間関係の心理学の知見を踏まえて、現実に関心を取り巻く人間関係をより良くしていくための工夫ができるようになる。 			
成績評価の方法			
出席・各回の課題により講義に対する参画度・理解度や授業外学習の成果を評価し、定期試験により全体的な理解度・定着度を評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	印象形成	8	日本的自己と人間関係
2	対人魅力	9	友人関係と恋愛関係
3	言語的・非言語的コミュニケーション	10	家族の人間関係
4	向社会的行動と攻撃行動	11	説得的コミュニケーション
5	性格と人間関係	12	リーダーシップ
6	自己概念と人間関係	13	集団心理と同調行動
7	前半の振り返り	14	後半の振り返り